

『サル痘アウトブレイク』



昨日のプロボクシング世界バンタム級3団体王座統一戦、井上尚弥 VS ノニト・ドネア戦をご覧になりましたでしょうか？井上尚弥選手の圧倒的な強さが目立った試合でしたが、ドネア選手の試合後の振る舞いも素晴らしいものでした。まさに「美しき敗者」でありました。これでおそらく井上尚弥選手は、階級を超えた実力ランキングであるパウンド・フォー・パウンド第1位になる可能性が高まりました。

まさに世界最強のボクサーといえるでしょう。

さて最近、欧米を中心に「サル痘」患者が増加しているそうです。コロナ、小児急性肝炎に続き聞きなれない感染症の報道に、またもや不安が増大します。

「サル痘」は「天然痘」に似た特徴を持つウイルス感染症です。「天然痘」は1980年に世界から根絶されましたが、サル痘は病態がよく似ており症状だけで区別することは困難といわれています。

6月5日時点で、世界で780例の患者報告がありますが日本国内ではまだ報告されていません。今のところイギリス、スペイン、ポルトガルが症例の多くを占めておりこれまでの確定例はすべて男性患者で、20代から40代の比較的若い世代に多いとのこと。またゲイやバイセクシャルの人が多く指摘されています。

「サル痘」は1970年にコンゴ民主共和国で初めてヒトでの感染例が報告されている動物由来の感染症です。名前は「サル痘」ですが、サルもたまたま感染することがあるだけでももとの宿主はネズミの仲間のげっ歯類ではないかと考えられています。

先程、病態が「天然痘」に似ていると述べましたが、人から人への「サル痘」感染は少なく、重症度も低いことが知られています。

「サル痘」は潜伏期が約12日で症状は、発疹、発熱、リンパ節の腫れ、頭痛、筋肉痛などで、通常全身に発疹がみられますが、今回のアウトブレイクでは性器や肛門周辺のみで発疹が認められた例もあるようです。重症度という点でアフリカでの「サル痘」致死率は1~10%とのことですが先進国での死亡例は報告されていないとのこと。

感染経路としては

- ①「サル痘」ウイルスを持つ動物にかまれたり、引っかかれたりする。あるいは血液・体液などに接触する
 - ②「サル痘」に感染した人の飛沫を浴びる
 - ③「サル痘」に感染した人の体液や発疹に触れる
- によって感染します。

国内での報告例はありませんが、症状が水痘(水ぼうそう)や単純ヘルペスに似ているため見た目では必ずしも区別できないそうです。私も診たことはありません。

おそらく、皆様が「サル痘」に感染するリスクは低いと思いますが今、注意喚起されている感染症であり、参考までにお話いたしました。